

飛騨市学校施設の長寿命化計画



令和3年3月

飛 騨 市

飛騨市学校施設の長寿命化計画

目 次

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
(1) 背景と目的	1
(2) 計画期間	2
(3) 対象施設	2
2. 学校施設の目指すべき姿	3
(1) 安全・安心な施設環境の確保	3
(2) 教育環境の質的向上	3
(3) 地域コミュニティの拠点形成	3
3. 学校施設の実態	4
(1) 学校施設の運用状況・活用状況等の実態	4
① 対象施設一覧	4
② 人口推移	5
③ 児童生徒数の変化	6
④ 学級数の変化	7
⑤ 学校施設の配置状況	8
⑥ 施設関連経費の推移	8
⑦ 学校施設の保有量	9
(2) 学校施設の老朽化状況の実態	11
① 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価	11
② 今後の維持・更新コスト（従来型）	14
③ 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	15
4. 学校施設整備の基本的な方針等	16
(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針	16
① 学校施設の長寿命化計画の基本方針	16
ア) 飛騨市総合政策指針（P.32～P.33）より抜粋	16
イ) 飛騨市公共施設総合管理計画（P.64～P.65）より抜粋	16
ウ) 本計画の基本方針	18
② 学校施設の規模・配置計画等の方針	18

(2) 改修等の基本的な方針	1 8
① 長寿命化の方針	1 8
② 目標使用年数、改修周期の設定	1 9
5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	1 9
(1) 改修等の整備水準	1 9
(2) 維持管理の項目・手法等	2 0
6. 長寿命化の基本計画	2 1
(1) 改修等の優先順位付けと基本計画	2 1
① 長寿命化改修の優先順位付け	2 1
② 直近6年の整備計画	
7. 長寿命化計画の継続的運用方針	2 2
(1) 情報基盤の整備と活用	2 2
(2) 推進体制等の整備	2 2
① 日常的な施設管理に対する支援体制	2 2
② 計画の進捗状況に対する支援体制	2 2
(3) フォローアップ	2 2

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 背景と目的

国は、社会資本の老朽化対策による安心・安全の確保を重要な施設課題とした上で、早急に建物系公共施設とインフラ系施設の全ての公共施設（以下「公共施設等」という。）の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要であるとして、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を定め、平成26年4月には、公共施設等を総合的かつ計画的に管理するための「公共施設等総合管理計画」を速やかに策定するよう、地方公共団体に対し要請しました。

本市においては、平成29年3月に「飛騨市公共施設等総合管理計画」を策定しており、その中で、学校教育施設は市有建築系公共施設の中で最も延床面積の占める割合が多いため、市全体の施設に係るライフサイクルコストに大きな影響を与える施設の一つとされています。

学校教育施設は、未来を担う子供たちが集い、生き生きと学び、生活する場であるとともに、地域住民にとっては生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場であり、災害時には避難所としての役割を果たす重要な施設となるため、学校施設の老朽化対策は先送りのできない重要な課題となっています。

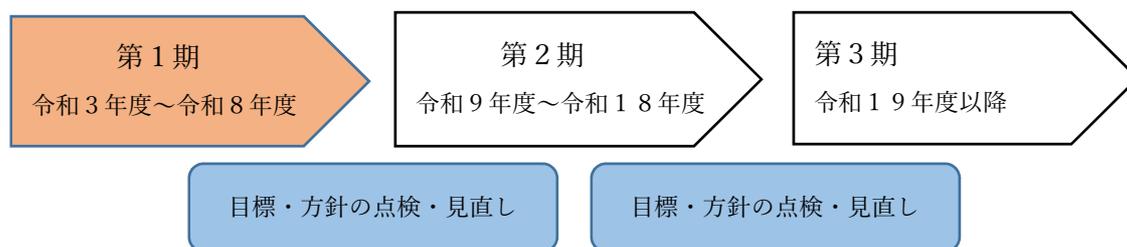
以上を踏まえ、上位計画である「飛騨市公共施設等総合管理計画」との整合性を図りつつ、施設整備に長寿命化という考え方を取り入れた効率的なメンテナンスサイクルの構築や予防保全的な改修等の実施により、施設の機能を維持しながら、これまで以上に長く使い続けることでライフサイクルコストの縮減、財政負担の軽減を目的とした「飛騨市学校施設長寿命化計画（以下「長寿命化計画」という。）」を策定します。

(2) 計画期間

本計画の期間は、令和3年から令和8年までの6年間とし、その後は点検、見直しを行い第2期（令和9年から令和18年）、第3期（令和19年以降）の計画を策定することとします。

ただし、社会情勢や教育環境の変化等への対応が必要となった場合には、計画期間に関わらず見直しを行うものとします。

図1 計画期間



(3) 対象施設

本計画の対象施設は、飛騨市立の小学校6校、中学校3校の校舎及び屋内運動場等とします。（※山之村小学校、山之村中学校は1校舎に2校が存在しています。）

表1 対象施設

学校区分	学校数（校）
小学校	6
中学校	3
計	9

2. 学校の目指すべき姿

学校施設の整備にあたっては、本市の教育振興基本理念である「ふるさと意識をもち 学び続ける人づくり」の実現に向けて、新しい時代にふさわしい、安心・安全で快適な環境を整備することが重要であると考えており、今後の学校施設の目指すべき姿について下記のとおり努めます。

(1) 安心・安全な施設環境の確保

施設整備において、安心・安全な施設環境の確保は最も優先すべき事項です。

市内の学校校舎や体育館等の耐震化については、平成24年度までに100%完了していますが、防災機能の強化や防犯、事故、老朽化等への対策、ガス、水道、電気設備等の安全対策等は今後も十分に検討する必要があります。

充実した学びと心身の成長のため、常に防災性や安全性が確保されるよう努めます。

(2) 教育環境の質的向上

これから先、人口減少や予測不能な未知の課題が次々と出てくる時代の中で、次代を生きる力「課題解決能力」を育む教育が重要となります。このため時代に即した機能的な学校施設環境を確保し、様々な学習内容・学習形態や様々な教育機器の導入などを可能とするとともに、今後の学校教育の進展や情報化の進展に長期にわたり対応できるよう努めます。

また、社会的な要請として、省エネ対応などの環境負荷の軽減や障がいのある児童生徒にも配慮した教育環境の整備に努めます。

(3) 地域コミュニティの拠点形成

学校施設は地域住民にとって身近な公共施設であり、まちづくりの核としての活用を一層積極的に推進する必要があります。

本市では、市内の保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を一つの学園に見立てた一貫連携教育構想、「飛騨市学園構想」を推進するため、一貫カリキュラムによる教育やコミュニティ・スクールの導入、ICTを活用した各校種間交流等を実施しており、今後より一層地域とともにある学校づくりに努めます。

3. 学校施設の実態

(1) 学校施設の運用状況・活用状況等の実態

① 対象施設一覧

表2 対象施設の児童・生徒数及び学級数

施設名		所在地	児童・生徒数（人）		学級数（学級）		
			通常学級	特別支援	通常学級	特別支援	
小学校	1	古川小学校	岐阜県飛騨市古川町片原町8番地35	421	16	15	3
	2	河合小学校	岐阜県飛騨市河合町角川91番地2	42	0	5	0
	3	宮川小学校	岐阜県飛騨市宮川町林258番地	8	1	2	1
	4	神岡小学校	岐阜県飛騨市神岡町船津225番地	258	8	11	2
	5	古川西小学校	岐阜県飛騨市古川町杉崎510番地	285	5	11	2
	6	山之村小学校	岐阜県飛騨市神岡町森茂1649番地1	12	0	3	0
小学校 計			1,026	30	47	8	
中学校	7	古川中学校	岐阜県飛騨市古川町沼町100番地	392	12	12	2
	8	神岡中学校	岐阜県飛騨市神岡町桜ヶ丘1番地	141	3	6	1
	9	山之村中学校	岐阜県飛騨市神岡町森茂1649番地1	3	0	2	0
中学校 計			536	15	20	3	
小中学校 計			1,562	45	67	11	

令和3年1月現在

② 人口推移

本市の人口は、1955年をピークに減少の一途を辿っています。2045年には現在の約2.4万人より1.1万人少ない1.3万人へと大きく減少することが予測されており、旧町村単位毎で見ると、古川町が横ばいで推移しているのに対し、神岡町の減少が顕著に現れています。

また人口構造も大きく変化しており、中でも15歳～64歳の生産年齢人口、いわゆる現役世代の減少が顕著であり、既に生活の様々な場面で支障をきたす事例が生じています。

図2 飛騨市人口ビジョン（資料：飛騨市総合政策指針（P.4））

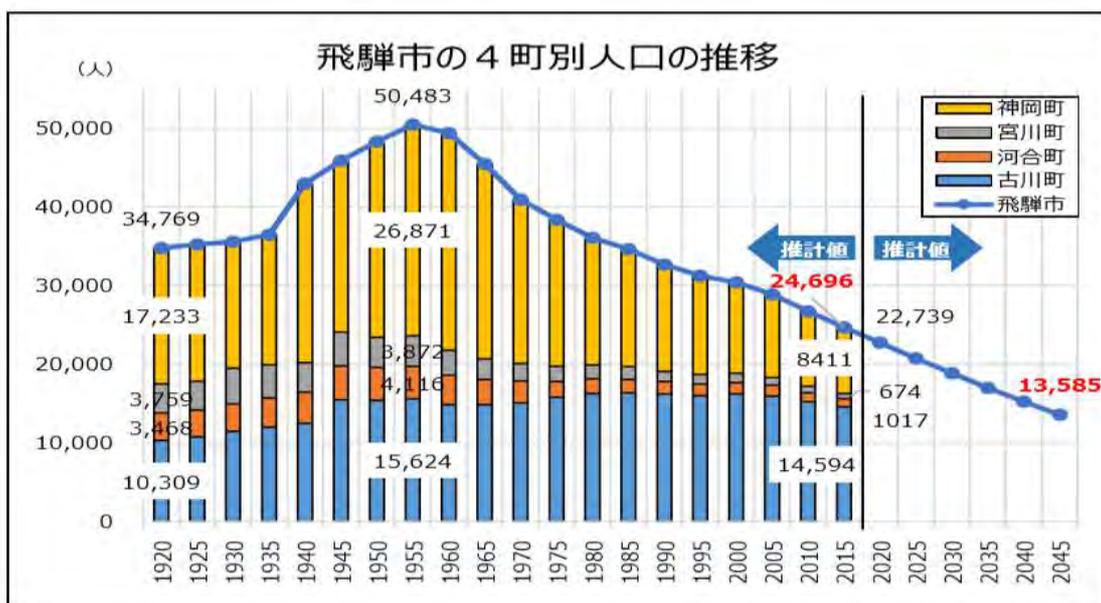
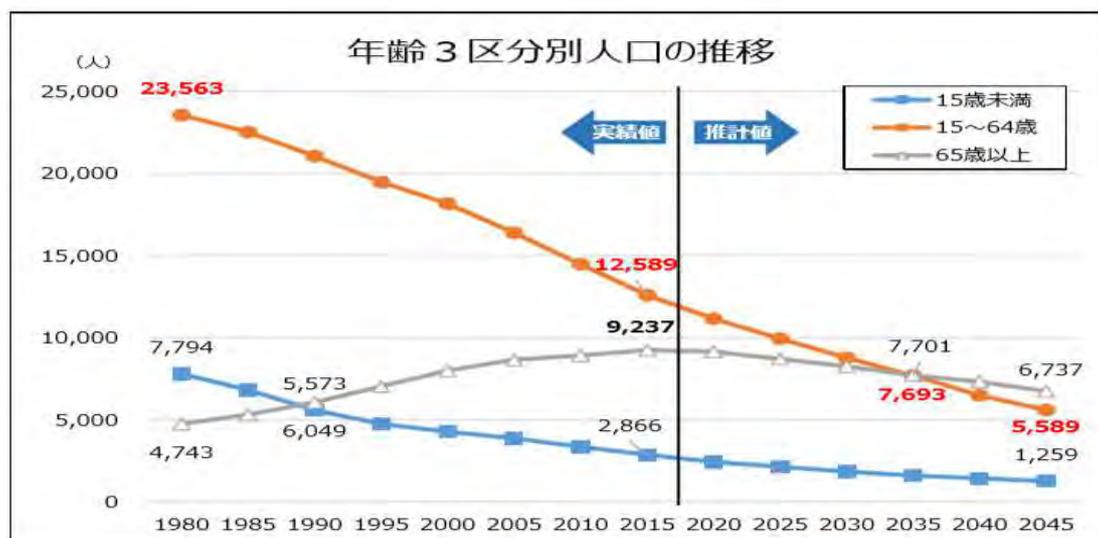


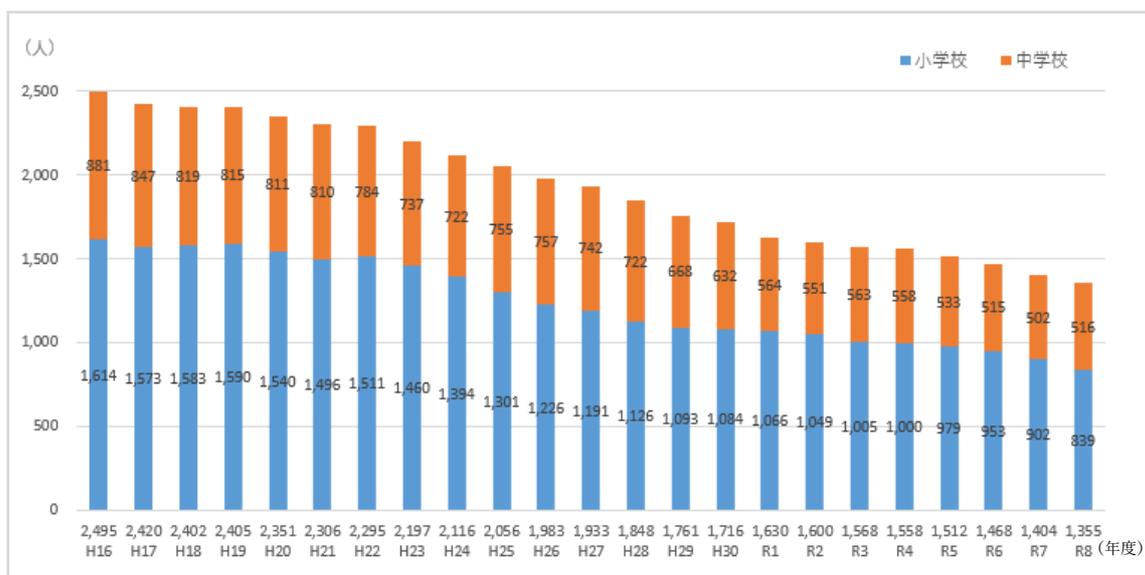
図3 人口構造の変化（資料：飛騨市総合政策指針（P.4））



③ 児童生徒数の変化

生産年齢人口の減少に伴い少子化が進展し、児童生徒数も減少傾向が続いています。図4のように平成16年度2,495人であったものが、令和2年度現在1,562人にまで減少しています。さらに令和8年度には1,355人まで減少することが予測されています。

図4 児童生徒数の変化



令和2年4月現在

表3 児童生徒数の変化

(単位: 人)

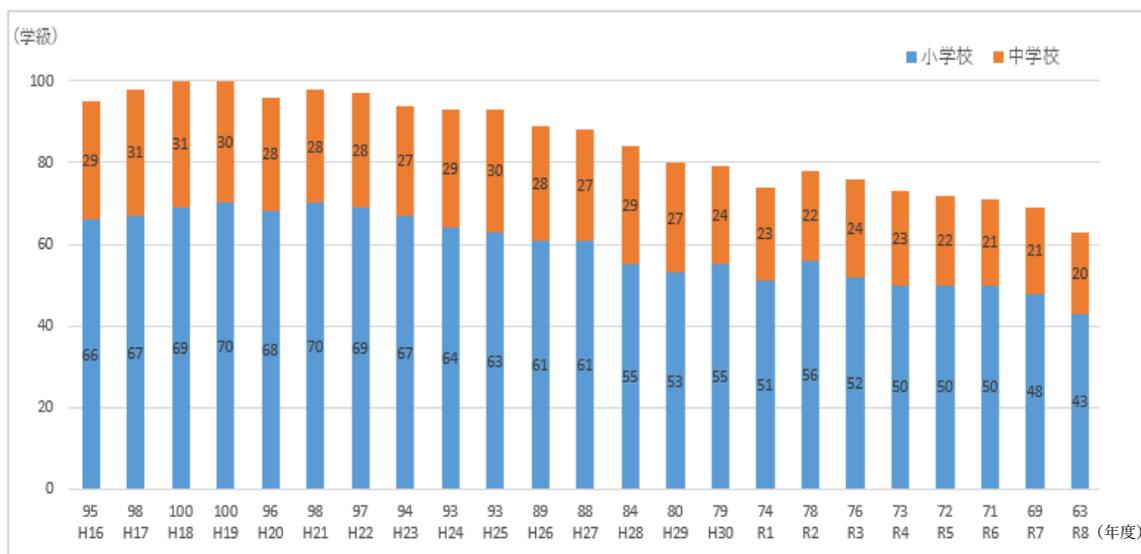
学校名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
小学校	古川小学校	656	639	658	676	661	650	667	655	623	583	539	510	461	444	449	435	435	426	431	430	423	407	376
	河合小学校	67	70	65	61	67	66	69	65	66	59	52	47	47	50	43	44	42	37	33	30	31	28	25
	宮川小学校	63	58	63	64	58	50	49	42	33	28	23	19	16	15	16	10	9	8	7	6	6	8	8
	神岡小学校	501	490	498	480	450	416	406	389	363	334	313	315	295	284	270	267	261	246	262	255	255	246	234
	古川西小学校	310	301	289	300	297	305	312	300	306	292	295	294	299	292	296	301	290	278	257	248	230	206	193
	山之村小学校	17	15	10	9	7	9	8	9	3	5	4	6	8	8	10	9	12	10	10	10	8	7	3
	計	1614	1573	1583	1590	1540	1496	1511	1460	1394	1301	1226	1191	1126	1093	1084	1066	1049	1005	1000	979	953	902	839
中学校	古川中学校	587	577	557	555	542	554	539	522	505	536	542	556	546	503	462	408	404	415	417	392	386	372	384
	神岡中学校	291	266	254	255	261	251	238	211	212	216	212	184	174	164	168	152	144	143	136	136	125	127	125
	山之村中学校	3	4	8	5	8	5	7	4	5	3	3	2	2	1	2	4	3	5	5	5	4	3	7
	計	881	847	819	815	811	810	784	737	722	755	757	742	722	668	632	564	551	563	558	533	515	502	516
合計	2495	2420	2402	2405	2351	2306	2295	2197	2116	2056	1983	1933	1848	1761	1716	1630	1600	1568	1558	1512	1468	1404	1355	

令和2年4月現在

④ 学級数の変化

学級数についても児童生徒数の減少に伴い減少傾向にあります。図5のように平成16年度に95学級であったものが、令和2年現在78学級までに減少しています。さらに、令和8年度には63学級まで減少することが予測されています。

図5 学級数の変化



令和2年4月現在

表4 学級数の変化

(単位:学級)

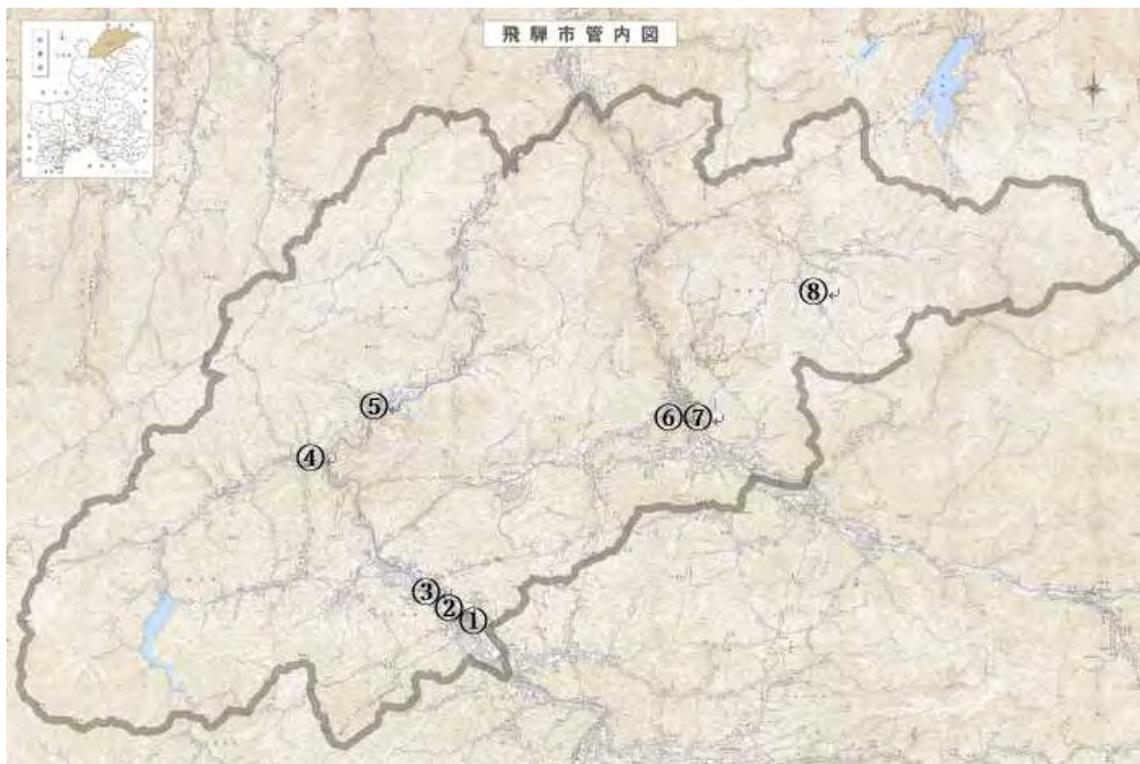
学校名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
小学校	古川小学校	20	21	22	23	22	23	24	23	22	21	20	20	18	16	16	15	18	17	17	17	17	16	15
	河合小学校	6	6	6	7	7	8	8	8	8	7	6	6	4	5	5	4	5	4	3	4	4	4	3
	富川小学校	6	6	6	6	6	6	5	5	3	4	4	4	4	3	4	3	3	2	2	2	2	3	3
	神岡小学校	17	17	19	18	17	17	16	15	15	15	15	15	13	13	14	13	13	13	13	12	13	12	11
	古川西小学校	14	14	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	12	12	12	11	10
	山之村小学校	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	1
	計	66	67	69	70	68	70	69	67	64	63	61	61	55	53	55	51	56	52	50	50	50	48	43
中学校	古川中学校	18	19	18	18	17	17	17	17	18	18	17	18	17	15	14	14	15	14	14	14	13	13	13
	神岡中学校	10	10	10	10	10	9	8	7	9	10	8	8	9	9	8	7	7	8	8	7	7	7	5
	山之村中学校	1	2	3	2	1	2	3	3	3	2	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2
	計	29	31	31	30	28	28	28	27	29	30	28	27	29	27	24	23	22	24	23	22	21	21	20
合計	95	98	100	100	96	98	97	94	93	93	89	88	84	80	79	74	78	76	73	72	71	69	63	

令和2年4月現在

⑤ 学校施設の配置状況

学校施設は、小学校が5校中学校は3校が配置されています。（※山之村小学校、山之村中学校は1校舎に2校が存在しているため、実数は小中学校合わせて8校となります。）

図6 学校施設の配置状況



- ①古川小学校
- ②古川中学校
- ③古川西小学校

- ④河合学校
- ⑤宮川小学校
- ⑥神岡小学校

- ⑦神岡中学校
- ⑧山之村小中学校

⑥ 施設関連経費の推移

表5のように、平成27年度から令和1年度における施設関連経費は、年間約0.6億円から4億円で推移しており、5年間の平均は、年間約1.5億円となっています。

経費の内訳をみると、施設整備費が最も高くなっており、5年間の平均は年間約1億円となっています。次に高いのは光熱水費となっており、5年間の平均は年間約0.3億円となっています。

表5 施設関連経費の推移（各年度決算額）

（単位：円）

経費	年度	H27	H28	H29	H30	R1
施設整備費		22,656,780	13,527,000	15,832,800	81,071,280	331,598,340
維持修繕費		6,521,475	5,475,097	13,846,666	7,311,042	10,026,549
光熱水費		29,454,192	30,687,052	33,304,740	32,577,501	27,097,769
委託料等		10,028,122	8,883,546	9,070,902	10,509,411	13,733,291
合計		68,660,569	58,572,695	72,055,108	131,469,234	382,455,949

⑦ 学校施設の保有量

表6のとおり、本市が保有する建物系公共施設は346施設、建物棟数787棟、延床面積は259,412㎡となっています。その内、学校教育系施設が50,414㎡と19.4%を占めており、構成比が最大となっています。そのため、学校教育施設は市全体の施設に係るライフサイクルコストに大きな影響を与えるとされています。

表6 施設分類別保有量（資料：飛騨市公共施設等総合管理計画（P.4））

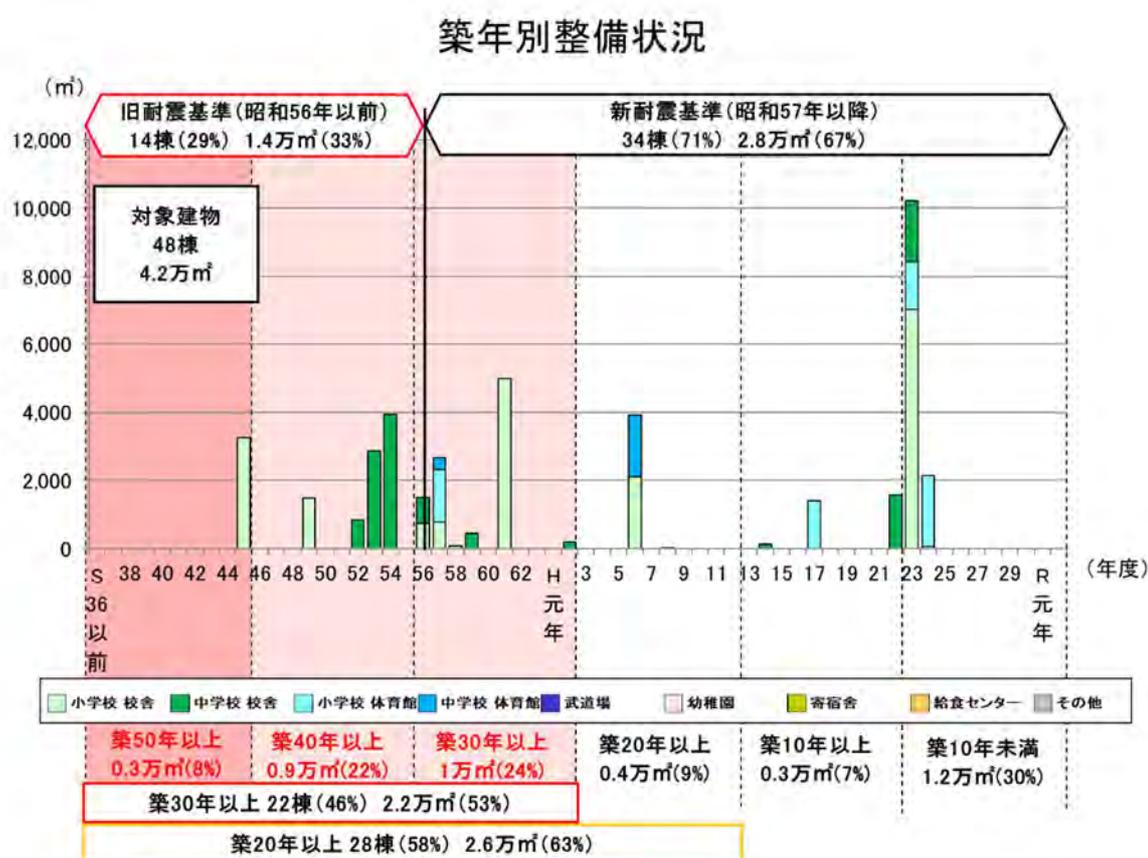
	大分類	施設数	建物数 (棟)	延床面積 (㎡)	構成比 (%)
①	学校教育系施設	22	78	50,414	19.4
②	市民文化系施設	27	44	27,073	10.4
③	社会教育系施設	10	25	9,314	3.6
④	スポーツ・レクリエーション系施設	46	178	39,199	15.1
⑤	産業・観光系施設	46	120	29,428	11.3
⑥	子育て支援施設	11	14	9,028	3.5
⑦	保健・福祉施設	14	26	12,570	4.9
⑧	行政系施設	121	158	33,092	12.8
⑨	市営住宅	25	93	25,209	9.7
⑩	環境・衛生施設	11	26	11,564	4.5
⑪	医療系施設	13	25	12,521	4.8
	計	346	787	259,412	100.0

※保有量は、平成27年度末(平成28年3月31日)時点

本市が保有する学校教育系施設のうち、本計画の対象施設の棟数及び面積は、48棟、約42,000㎡となり、そのうち築30年以上の校舎が宮川小学校、神岡小学校、古川西小学校に、築30年以上の体育館が河合小学校、山之村小中学校に存在し、築30年以上の合計延床面積は約22,000㎡となっています。これは対象施設の延床面積の5割以上を占めていることとなり、老朽化対策が必要となる施設が5割以上であるといえます。

また20年後には、築30年以上の建物面積が約30,000㎡となり全体の7割以上を占めることとなるため、計画的な老朽化対策を検討していく必要があります。

図7 築年整備状況

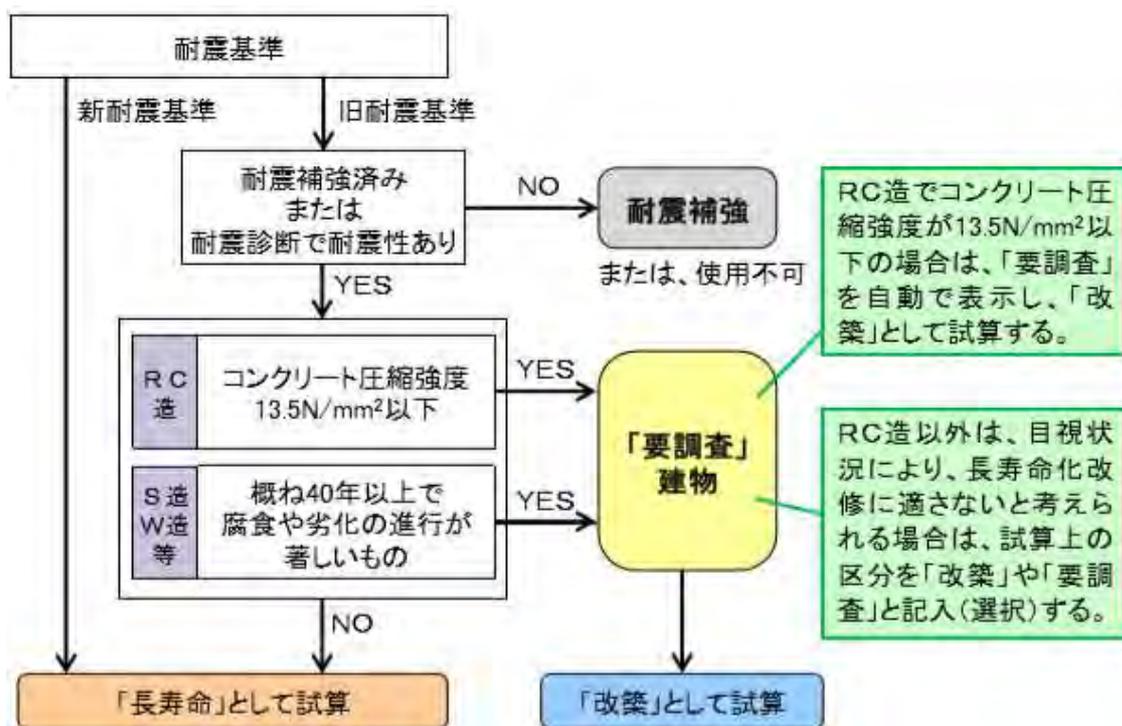


(2) 学校施設の老朽化状況の実態

① 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体の劣化状況等の評価

従来のように築50年未満で建て替えるのではなく、80年程の長期間にわたって建物を利用するためには、構造躯体が健全でなければ必要な安全性が確保できません。そのため、躯体構造の健全性を耐震安全性と長寿命化判定の2項目で評価しました。

図8 構造躯体の健全性の評価



また躯体以外の劣化状況を把握し、劣化部位の修繕コストや改修等の優先順位を付け、今後の維持・更新コストの算出に反映させるため、対象建物ごとに屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備の調査を実施しました。(劣化状況調査)

調査は、屋根、屋上・外壁を目視調査及びドローン調査により実施し、内部仕上げ、電気設備、機械設備を目視調査及び経過年数調査により実施し、A、B、C、Dの4段階で評価しました。

図9 劣化状況調査の評価基準

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化 D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

経過年数による評価
【内部仕上げ、電気設備、
機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

劣化状況調査の評価をもとに、各建物の劣化状況を100点満点で数値化し健全度を算定しました。なお、部位のコスト配分は、文部科学省の長寿命化改良事業の校舎の改修費算定表を参考に設定しました。

図10 健全度の算定

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

	評価	評価点	配分	
1 屋根・屋上	C	40	5.1	= 204
2 外壁	D	10	17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	75	22.4	= 1,680
4 電気設備	A	100	8.0	= 800
5 機械設備	C	40	7.3	= 292
計 3,148				
÷ 60				
健全度				52

表7 建物情報一覧表

■ :築50年以上
 ■ :築30年以上
 基準 2020
 A :概ね良好
 C :広範囲に劣化
B :部分的に劣化
D :早急に対応する必要がある

通し 番号	建物基本情報										構造躯体の健全性					劣化状況評価									
	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分 学校 種別	建物 用途	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度 西暦 和暦	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根 上	外 壁	内 上 部 仕	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)			
												基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)							試算上の 区分		
1	691	吉川小学校	普通教室棟	9	14-01-009	小学校	校舎	R	2	1,400	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
2	691	吉川小学校	玄関	10	14-01-009	小学校	校舎	R	2	170	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
3	691	吉川小学校	普通・特別教室棟	11	14-01-009	小学校	校舎	R	2	2,837	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98		
4	691	吉川小学校	普通・特別教室棟	12	14-01-009	小学校	校舎	R	1	52	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
5	691	吉川小学校	普通教室棟	13	14-01-009	小学校	校舎	R	1	460	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
6	691	吉川小学校	普通・特別教室棟	14	14-01-009	小学校	校舎	R	1	52	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
7	691	吉川小学校	普通教室棟	15	14-01-009	小学校	校舎	R	1	460	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
8	691	吉川小学校	特別教室棟	16-1	14-01-009	小学校	校舎	R	2	1,442	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98		
9	691	吉川小学校	更衣室	16-2~3	14-01-009	小学校	校舎	R	1	0	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	B	97		
10	691	吉川小学校	屋内運動場	17-1~2	14-01-009	小学校	体育館	R	1	1,425	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
11	700	河合小学校	屋内運動場	7	14-02-004	小学校	体育館	R	2	1,098	1981	S56	39	新	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84		
12	700	河合小学校	食堂	8	14-02-004	小学校	校舎	R	1	0	1993	H5	27	新	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82		
13	700	河合小学校	特別教室棟	9	14-02-004	小学校	校舎	R	2	524	1994	H6	26	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
14	700	河合小学校	普通・特別教室棟	10	14-02-004	小学校	校舎	W	2	698	1994	H6	26	新	-	-	長寿命	B	A	A	B	B	92		
15	700	河合小学校	普通・特別教室棟	11	14-02-004	小学校	校舎	W	2	819	1994	H6	26	新	-	-	長寿命	B	A	A	B	B	92		
16	700	河合小学校	渡り廊下	13	14-02-004	小学校	校舎	R	2	55	1994	H6	26	新	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82		
17	700	河合小学校	階段棟	14	14-02-004	小学校	校舎	R	2	46	2011	H23	9	新	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82		
18	701	宮川小学校	管理・普通・特別教室棟	11	14-03-004	小学校	校舎	R	3	1,484	1974	S49	46	旧	済	済	H18	20.6	長寿命	C	D	C	B	A	43
19	701	宮川小学校	会議室	15	14-03-004	小学校	校舎	S	1	74	1983	S58	37	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
20	701	宮川小学校	屋内運動場	22	14-03-004	小学校	体育館	R	1	873	2012	H24	8	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
21	701	宮川小学校	玄関・更衣室	23-1~2	14-03-004	小学校	校舎	R	1	51	2012	H24	8	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
22	701	宮川小学校	渡り廊下	24	14-03-004	小学校	校舎	S	1	15	2012	H24	8	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
23	707	神岡小学校	普通教室棟	11	14-04-002	小学校	校舎	R	3	1,322	1985	S60	35	新	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	49		
24	707	神岡小学校	特別教室棟	12	14-04-002	小学校	校舎	R	3	1,979	1985	S60	35	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
25	707	神岡小学校	特別教室棟	13	14-04-002	小学校	校舎	R	2	691	1985	S60	35	新	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62		
26	707	神岡小学校	管理・特別教室棟	14	14-04-002	小学校	校舎	R	2	996	1985	S60	35	新	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65		
27	707	神岡小学校	屋内運動場	15-1~2	14-04-002	小学校	体育館	R	1	1,397	2004	H16	16	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
28	722	吉川西小学校	管理・普通・特別教室棟	1	14-01-002	小学校	校舎	R	3	3,123	1969	S44	51	旧	済	済	H21	17.6	長寿命	B	B	B	B	C	71
29	722	吉川西小学校	管理棟	2	14-01-002	小学校	校舎	S	1	125	1970	S45	50	旧	-	-	H21	-	要調査	B	B	C	C	C	53
30	722	吉川西小学校	特別教室棟	8	14-01-002	小学校	校舎	R	1	774	1981	S56	39	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
31	722	吉川西小学校	職員トイレ	12	14-01-002	小学校	校舎	S	1	13	1996	H8	24	新	-	-	長寿命	B	B	C	B	B	62		
32	722	吉川西小学校	エレベーター棟	14	14-01-002	小学校	校舎	R	3	40	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
33	722	吉川西小学校	スクールバス車庫	15	14-01-002	小学校	その他	S	1	397	2011	H23	9	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
34	722	吉川西小学校	屋内運動場	16	14-01-002	小学校	体育館	R	1	1,198	2011	H23	9	新	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
35	723	山之内小学校	管理・普通・特別教室棟	1-1	14-04-007	小学校	校舎	R	2	738	1981	S56	39	旧	済	済	H18	20.6	長寿命	C	B	C	B	B	59
36	723	山之内小学校	給食棟	1-2	14-04-007	小学校	校舎	R	1	0	1981	S56	39	旧	済	済	H18	20.6	長寿命	C	B	B	B	B	72
37	723	山之内小学校	屋内運動場	3	14-04-007	小学校	体育館	R	2	442	1982	S57	38	新	-	-	長寿命	A	B	C	B	B	64		
38	723	山之内小学校	教職員住宅	8	14-04-007	小学校	その他	W	2	245	2007	H19	13	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
39	3861	吉川中学校	普通教室棟	10-1	14-01-003	中学校	校舎	R	4	1,715	1979	S54	41	旧	済	済	H17	20.6	長寿命	B	B	B	B	C	71
40	3861	吉川中学校	普通・特別教室棟	10-2	14-01-003	中学校	校舎	R	4	2,002	1979	S54	41	旧	済	済	H17	20.6	長寿命	B	B	B	B	C	71
41	3861	吉川中学校	特別教室棟	10-3	14-01-003	中学校	校舎	R	2	444	1984	S59	36	新	-	-	長寿命	B	B	B	C	C	66		
42	3861	吉川中学校	1階渡り廊下	11-1	14-01-003	中学校	校舎	R	2	218	1979	S54	41	旧	済	済	H17	20.6	長寿命	C	B	C	C	C	50
43	3861	吉川中学校	2階渡り廊下	11-2	14-01-003	中学校	校舎	R	2	192	1990	H2	30	新	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72		
44	3861	吉川中学校	屋内運動場	15-1~4	14-01-003	中学校	体育館	R	3	1,827	1994	H6	26	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
45	3861	吉川中学校	特別教室棟	21	14-01-003	中学校	校舎	R	2	1,722	2010	H22	10	新	-	-	長寿命	C	B	A	A	A	88		
46	3875	神岡中学校	普通・特別教室棟	10	14-04-005	中学校	校舎	R	4	841	1976	S51	44	旧	済	済	H19	20.6	長寿命	C	B	B	B	C	68
47	3875	神岡中学校	普通・管理・特別教室棟	11	14-04-005	中学校	校舎	R	4	2,862	1977	S52	43	旧	済	済	H19	20.6	長寿命	C	B	B	B	B	72
48	3875	神岡中学校	屋内運動場	17-1~4	14-04-005	中学校	体育館	R	1	10	2001	H13	19	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		
49	3875	神岡中学校	渡り廊下	18	14-04-005	中学校	校舎	W	1	118	2001	H13	19	新	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77		
50	3875	神岡中学校	特別教室棟	20	14-04-005	中学校	校舎	R	2	1,589	2009	H21	11	新	-	-	長寿命	A	B	B	A	A	84		
51	3876	山之内中学校	普通・特別教室棟	1	14-04-004	中学校	校舎	R	3	764	1981	S56	39	旧	済	済	H18	20.6	長寿命	C	B	C	B	B	59
52	3876	山之内中学校	屋内運動場	2	14-04-004	中学校	体育館	R	1	360	1981	S56	39	新	-	-	長寿命	A	B	C	B	B	64		
53	3876	山之内中学校	教職員住宅	5	14-04-004	中学校	その他	W	2	245	2007	H19	13	新	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75		

② 今後の維持・更新コスト（従来型）

従来の築50年未満で改築する整備方法を採用した場合、今後40年間のコストは192億円（4.8億円/年）かかると試算されます。これは、過去5年間の施設関連経費1.4億円/年を約3.4倍上回ることとなります。

したがって、従来の建て替え中心の整備を継続することは、限られた財政状況等を総合的に勘定した場合、非常に困難となる可能性が高く、対応策を検討する必要があると考えられます。

図1-1 従来型（文部科学省想定）

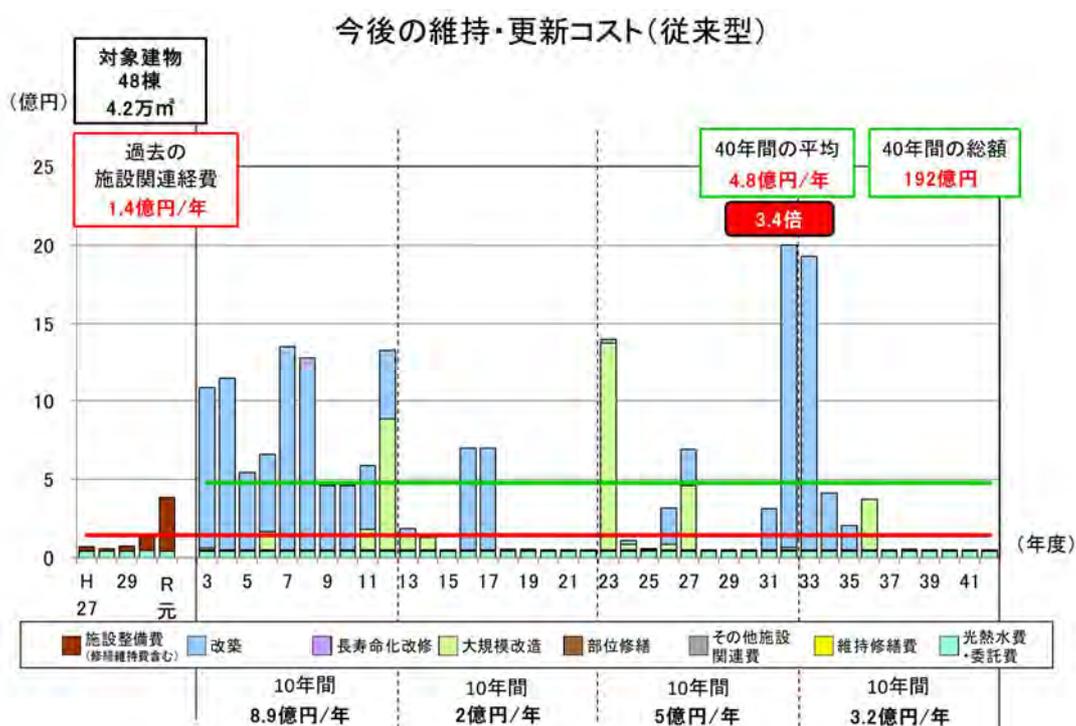


表8 周期・単価一覧

費用区分	費用内容	周期	単価	改築との比較
改築	施設の改築に係る費用	40年	330,000円/㎡	100%
大規模改修	施設の大規模改修に係る費用	20年	82,500円/㎡	25%

③ 今後の維持・更新コストの把握（長寿命化型）

従来の築50年未満で改築する整備方法ではなく、長寿命化改修を行い80年で改築する整備方法を採用した場合、今後40年間のコストは173億円（4億円/年）となり、従来型の192億円（4.8億円/年）に対し総額19億円（0.5億円/年）の縮減となります。

しかし、長寿命化型に切り替えたとしても年間にかかる整備コストの平均は4億円を超え、40年での縮減率は10%程であるため、長寿命化だけではなく整備方法や整備時期等も含め検討する必要があると考えられます。

図12 長寿命化型（文部科学省推奨）

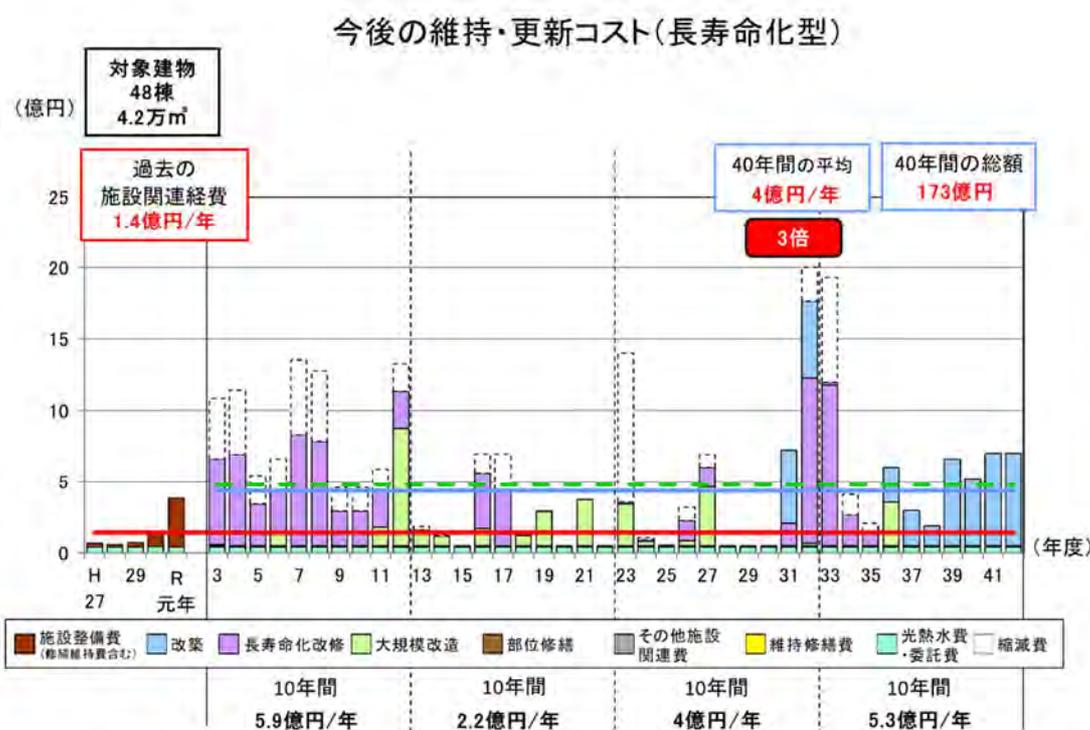


表9 周期・単価一覧

費用区分	費用内容	周期	単価	改築との比較
改築	施設の改築に係る経費	80年	330,000円/㎡	100%
長寿命化改修	施設の長寿命化改修に係る経費	40年	198,000円/㎡	60%
大規模改修	施設の大規模改修に係る費用	20年	82,500円/㎡	25%

4. 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

① 学校施設の長寿命化計画の基本方針

上位計画との整合性を図り、本計画の基本方針を定めることとします。

ア) 飛騨市総合政策指針 (P.32~P.33) より抜粋

第4章 3. 財政改革 (2) 公共施設の管理運営

① 公共施設の現状

本市には様々な分野に多くの建物系公共施設がありますが、その約3分の1が築30年以上を経過しており、その比率は今後さらに高まることが予想され、10年20年後といった長期的なスパンで考えると、施設の改修や建て替など老朽化への対応が大きな課題となっています。

市では、人口減少や年代別人口構成の変化、市民のライフスタイルの多様化等に伴う施設の利用需要の変化及び今後見込まれる厳しい財政事情等を踏まえ、将来を見据えた公共施設等の計画的管理の基本方針として、平成29年3月に「飛騨市公共施設等総合管理計画」を策定しました。また、長期的な視点をもって総合管理計画を総合的かつ計画的に推進するため、個別施設計画の策定を進めています。

② 管理運営の基本方針

個別施設計画では、長期的な視点の下、予防保全により各施設を標準的な耐用年数を超えて使用することで建て替え時期を延伸し、計画期間中の総投資額を抑制することを基本的な考え方としています。

その実現のため、各施設の現状を把握した上で、長寿命化に資する具体的対策を洗い出し、計画的に行うことで、財政負担の軽減、平準化を図ることを目標とします。

イ) 飛騨市公共施設等総合管理計画 (P.64~P.65) より抜粋

第3章 2 全体目標

① 住民ニーズへの適切な対応を目指します。

公共施設は本来、住民の方々に公共サービスを提供するための施設であり、住民ニーズに適合した利用をされて効果を発揮します。そのため、経済状況や時間の経過によって変化する住民ニーズを的確にとらえて、公共施設が最大限に有効活用されるこ

とを目指します。

また、既存の建物のリノベーションや、複数の機能を盛り込み複合化を図るなど、コストを抑えた住民ニーズへの適切な対応を目指します。

②人口減少を見据えた整備更新をします。

当市の人口は、今後25年で約35%の減少が見込まれています。そのため、新規施設の整備は他の選択肢がなく、市民生活の充実、市内経済の発展等に寄与する施設に限定します。長寿命化及び修繕を適切に、計画的に行うことで可能な限り長期間で使用できるように整備更新を行います。

また、稼働率が低く、維持管理経費が高額な施設は統合・整理を検討し、その解体費用等も考慮した上で、不要と判断された施設については除却により施設総量を縮減します。

③施設の統合・複合化等により総量の縮減を目指します。

公共施設の統合・整理、遊休施設の活用、施設の複合化等によって、機能を維持しつつ、施設の総量（延床面積）を縮減して維持管理や改修等にかかるコストの縮減を目指します。また、複合施設においては、管理・運営を一元化・効率化する等、管理にかかるコストをさらに縮減が図れるように検討します。

④事後修繕から予防修繕へ転換します。

公共施設が重大な損傷が生じてからの修繕ではなく、計画的に予防的な修繕等を実施することで、公共施設を維持しながら長寿命化を図り、ライフサイクルコスト（施設の建設から維持管理、解体までにかかる費用）を縮減できるようにします。市の財政事情と連動しながら投資目標値を定め、個別の施設の長寿命化計画や維持管理計画に沿って計画的に維持管理をして財政負担の軽減と平準化を目指します。

⑤30年間で更新費用を15%削減します。

建物系公共施設の更新費用推計結果により、年平均24.1億円が必要という試算となっており、町村合併後12年間の建物系公共施設の投資的経費の年間平均20.4億円と単純に比較すると、現時点で年平均約3.7億円の不足が発生しています。

今後さらに生産年齢人口の減少や自主財源の減少が見込まれることから、①～④の取り組みを実施し、更新費用を今後30年間のトータルで15%の削減を目指します。

ウ) 本計画の基本方針

①学校施設の長寿命化

計画的に長寿命化改修、大規模改修等の予防的な修繕を実施することで、施設を維持しながら長寿命化を図り、財政負担の軽減や平準化を目指します。

また施設の劣化及び機能低下を防ぎ、施設等が安心、安全かつ快適に利用できるよう、定期的な点検、診断等の実施を検討します。

②学校施設の適正規模・適正配置

人口減少に伴う少子化の進展が予測されている中、より良い教育環境の整備のため、地域の実情に応じた適正な配置や将来の児童生徒数を見据えた適切な施設規模や仕様を、市民とともに検討します。

② 学校施設の規模・配置計画等の方針

本市の人口は減少の一途を辿る予測がされており、児童生徒数は現在の1,600人から令和8年には1,355人にまで減少すると推計されています。学校施設の維持管理経費については、児童生徒数に比例して減少することではなく、逆に老朽化により修繕費、改修費等の増加が予測され、効率的な学校運営に影響を及ぼす可能性が高くなります。

こうした状況の中、今後の学校施設の規模や配置、管理方法が適正なのか、必要に応じて地域と検討を進めていくとともに、安心・安全で機能性の高い学校施設の配置を目指していきます。

(2) 改修等の基本的な方針

① 長寿命化の方針

今後は、従来の築50年未満での建て替えから目標使用年数を80年とした建物の長寿命化の考え方を取り入れ、計画的な改修を実施します。

そのために、点検・診断等を実施し、その結果を踏まえて、公共施設が重大な損傷が生じてからの修繕ではなく、計画的に予防的な修繕等を行い、期待される耐用年数まで公共施設を維持できるよう長寿命化を図ります。

また、多様化する教育課題等に適切に対応できる施設整備や多様な利用が可能な施設整備を目指しつつ、市の財政事情と連動しながら財政負担の軽減や平準化を図ります。

② 目標使用年数、改修周期の設定

目標使用年数を80年とするため、計画的な改修を実施します。以下に長寿命化改修を実施した場合の周期等を示します。ただし、改修周期は参考値であり、劣化状況等により変動するものとします。

表10 改修周期計画

周期	内容	詳細
築20年目	大規模改修	経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事 (例) 屋根・屋上の改修、外壁改修、設備機器更新、劣化の著しい部位の修繕、その他
築40年目	長寿命化改修 ※従来の改築等周期	経年劣化による機能回復工事及び機能向上工事 (例) 防水改修、屋根・屋上の改修、外壁改修、内部改修(天井、内壁、床等)、機械設備改修、電気設備改修、地域の実情や時代に合わせた機能性向上改修、その他
築60年目	大規模改修	経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事 (例) 屋根・屋上の改修、外壁改修、設備機器更新、劣化の著しい部位の修繕、その他
築80年目	改築、解体	

5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

(1) 改修等の整備水準

長寿命化において配慮すべき性能に対して、費用対効果を考慮して最適な仕様の設定を検討し、将来の社会的要求水準の高まりへの対応や建物の整備レベルの統一を図ります。

- 1) 構造躯体の健全性の確保
- 2) ライフラインの更新
- 3) アスベスト対策
- 4) 省エネルギー化
- 5) バリアフリー化
- 6) 防災・防犯機能の強化
- 7) 耐久性の強化

8) 学習環境の整備

(2) 維持管理の項目・手法等

学校施設の維持管理を効率的かつ効果的に実施するため、定期点検を6年後、以降は5年ごとに実施し、必要に応じて詳細調査等を実施します。

図13 劣化状況調査票

通し番号			調査日	令和 年 月 日 ()		
学校名			学校番号			
建物名			記入者			
棟番号			建築年度	年度 (年度)		
構造種別	延床面積	㎡	階数	地上	階 地下 階	
部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新) 年度 工事内容	劣化状況 (複数回答可)	個所数	特記事項	調査員 評価
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水		<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水		<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水		<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類)		<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()		<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ		<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り		<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル		<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれがある			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル (ALC等)		<input type="checkbox"/> タイルや石が割れている			
	<input type="checkbox"/> その他外壁 ()		<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ		<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ		<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス		<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (目視及び点検等による指摘事項)	経年 評価	調査員 評価	
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具 (間仕切等) (照明器具) (エアコン) 等	<input type="checkbox"/> 老朽改修		(床・壁・天井)			
	<input type="checkbox"/> エコ改修					
	<input type="checkbox"/> トイレ改修					
	<input type="checkbox"/> 法令適合		(内部建具)			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN					
	<input type="checkbox"/> 空調設備		(間仕切等)			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策					
	<input type="checkbox"/> 防犯対策					
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策		(照明器具、エアコン、その他)			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策					
<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事						
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修					
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事					
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検					
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事					
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修					
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修					
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検					
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事					
特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)						
					健全度	
					/100点	

表11 定期点検時期

年度	定期点検
令和2年	○ (済)
令和3年	
令和4年	
令和5年	
令和6年	
令和7年	
令和8年	○
令和9年	
令和10年	
令和11年	
令和12年	
令和13年	○
令和14年	
令和15年	
令和16年	
令和17年	
令和18年	○

6. 長寿命化の基本計画

(1) 改修等の優先順位付けと基本計画

① 長寿命化改修の優先順位付け

今後の学校施設の長寿命化に関する改修等の優先順位付けの考え方は、学校単位での整備とし、必要な時期に改修を実施していない建物、築年数の古い建物、劣化状況が著しい建物から整備を行うこととします。

② 直近6年の整備計画

短期計画としては、神岡小学校の大規模改修工事を2カ年にわたり実施します。

神岡小学校校舎は築35年を経過しているものの、必要な耐震性能を満たしていたため、これまで大規模な改修工事を実施していませんでした。しかし、外壁には多数のクラックが生じ、建物内部も各所に経年劣化が見られることから、早急な防災強化及び老朽化対策対応が必要となっています。

表12 短期計画

(単位：円)

事業名称	2021		2022		2023		2024		2025		2026	
	R3		R4		R5		R6		R7		R8	
	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
新增築事業												
改築事業												
耐震化事業 (非構造部材の対策含む)												
長寿命化改修												
大規模改造(老朽)	神岡小学校	24,477,000	神岡小学校	42,700,000								
防災関連事業	神岡小学校	115,723,000	神岡小学校	128,900,000								
トイレ整備												
空調整備												
障害児等対策												
特別支援学校の整備												
部位修繕												
合計		140,200,000		171,600,000		0		0		0		0

令和3年度 神岡小学校大規模改修工事(第1期)

令和4年度 神岡小学校大規模改修工事(第2期)

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度

短期計画の作成周期は、直近6年の整備計画以降、5年ごとの定期点検の結果を踏まえ、5年ごとに作成することとします。

表13 短期計画の作成周期

内容 \ 年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	
定期点検 計画作成	○						○					○					○	
短期計画 期間		第1期 整備計画						第2期 整備計画					第3期 整備計画					

7. 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

施設の基本情報、施設維持管理経費、施設運営経費、工事・修繕履歴、劣化状況等の情報を適切に管理するとともに、必要に応じて管理システムの導入や外部委託等について検討していきます。

(2) 推進体制等の整備

本計画を実行性のあるものとするため、担当部局である教育委員会事務局教育総務課のみならず、専門的知見を有する人材との連携等、横断的な体制を整備します。

① 日常的な施設管理に対する支援体制

- ・ 技術職員を有する部局との連携
- ・ 出先機関との連携 等

② 計画の進捗状況に対する支援体制

- ・ 教育委員会と市長部局との全庁横断的な検討体制
- ・ 財政との連動
- ・ 関連計画担当部局との連携、整合、調整 等

(3) フォローアップ

本計画は、学校施設の改修等の基本的な方針等を定めるものであり、他の計画や方針等を踏まえながら施設の長寿命化を図り、コストの縮減や平準化を図るためものです。

また、学校施設の機能・性能を確保していくためには、改修等による効果や時期、工法等を継続的に見直していく必要があります。

教育を取り巻く環境や社会情勢の変化、地域の実情等に対応していくため、本計画については必要に応じて見直し、更新を行うものとします。

参考資料

- ・ 文部科学省 学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き（平成27年4月）
- ・ 文部科学省 学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）
- ・ 飛騨市教育委員会 飛騨市教育振興基本計画（平成25年3月）
- ・ 飛騨市 飛騨市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱
（平成28年2月）
- ・ 飛騨市 飛騨市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）
- ・ 飛騨市 個別施設計画策定用施設カルテ（令和元年度）
- ・ 飛騨市 飛騨市総合政策指針（令和2年2月）



HIDA CITY

飛驒市

飛驒市学校施設の長寿命化計画

令和3年3月

編集：飛驒市教育委員会事務局 教育総務課

〒509-4292 岐阜県飛驒市古川町本町2番22号

TEL：0577-73-7493 FAX：0577-73-7497

URL：<http://www.sity.hida.gifu.jp/>